

事業所名 就労準備型放課後等デイサービス サン・ワーク

支援プログラム（様式）

作成日

2025 年

2 月

15 日

法人（事業所）理念		全ての人が安心して挑戦し、活躍できる未来へ						
支援方針		将来の就労目標から逆算した必要なスキル・能力の獲得						
営業時間		学校開校日	10 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり
		学校休校日	8 時	30 分から	17 時	0 分まで		
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	来所時に生活面の聞き取りや助言を行い、望ましい生活リズムの維持・継続を図れるよう支援を行っている。本人の興味・関心があることを契機としながら活動や役割の導入を促す。具体的な活動として生活自立訓練を行い、健康的な生活リズムで日々が送れるよう指導・実践の場を設けている。						
	運動・感覚	一部活動の中で運動の機会を設け、運動感覚や触覚等の維持・伸長を図っている。主な活動として、屋外で行う各種活動（公園遊び・ボール遊び等）と屋内での運動・創作活動（ボッチャ・ストラックアウトやバランス運動、アイロンビーズ等）を交えて行っている。						
	認知・行動	感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生じる行動障害の予防、および場面ごとで適切な行動ができるよう支援を行っている。SSTレッスンでの各種講義（距離感の問題提起、アンガーマネジメント、人間関係の構築・維持等）が該当する。来所時の日回家や曜日、季節の確認等を通し認知・見当識の確認を行っている。その際、場所や季節ごとに合わせた行動・服装、身だしなみができているかも併せて確認している。						
	言語 コミュニケーション	自身の気持ちや状況を適切に伝えられることを目的とし、レッスンを行っている。SSTレッスンや部活動での集団活動を通じ意見発表や話し合いの機会提供の場を設け、他者との関係性構築・維持の上で基本的な技術の習得を目指している。他の活動においても、各自が自発的にコミュニケーションを取り合い活動を遂行できるか注視・援助している。						
	人間関係 社会性	適切な表現を用いてコミュニケーションを行い、最終的には自己理解や他者理解への促しができるようになることを目的とし、集団活動・イベントの機会を設けている。スタッフからの声掛けを契機とした関係性作りから始まり、自身からの問題提起・他者との関係性構築を目指し、集団活動を行う中で各員の交流の促進・補助を行っている。						
家族支援		定期的な保護者面談、電話での相談受付			移行支援		自身に合った職業選択・将来必要となる技術の習得ができるようレッスンを行っている。PC操作レッスンやSSTレッスンが該当する。	
地域支援・地域連携		年2回の防災訓練における避難先との連携			職員の質の向上		各月における職員研修の実施。虐待防止委員会の設置及び定期的な開催。身体拘束等の適正化を図るための委員会の設置と研修の実施	
主な行事等		毎週土曜日と祝日にはイベント開催を行っている。公園や遊園地、レジャー施設への外出行事や、調理活動やeスポーツ大会、クイズ大会などの施設内での行事を実施している。						